



高村光太郎記念館では、高村光太郎没後60年、高村智恵子生誕130年を記念した企画展「智恵子の紙絵」を開催しています。

光太郎の妻・智恵子は晩年の入院生活中、色紙や身の回りにあった紙で「切り抜き絵」を多く制作。それらの作品は遺作となった後、光太郎によって「紙絵」と名付けられました。太平洋戦争の空襲で光太郎のアトリエは全焼しましたが、紙絵は花巻などへ疎開させていて無事でした。

智恵子が生み出し、光太郎が守り抜いた紙絵。繊細な表現と独特な色彩感覚を持つ彼女の作品から、光太郎と智恵子の思いが感じられる企画展です。



▲光太郎と智恵子(昭和2年撮影)



▲紙絵「いちご」

智恵子は雑誌「青鞥」創刊号の表紙絵を描くなど新鋭の画家として注目されていました。しかし、自身の油絵に対する芸術的苦悩や実家の倒産などで心労が重なり、長い療養生活を送った後、昭和13年に53歳で亡くなりました。智恵子が晩年に制作した、繊細な「紙絵」の数々。それはただ光太郎に見せるために作られたものでした。光太郎は「これを私に見せる時の、智恵子の恥ずかしそうな、うれしそうな顔が忘れられない」と後に書いています。同企画展では、紙絵の原画と複製を約30点展示しています。原画は制作から80年が経過しており、退色を防ぐために約2週間ごとに作品を入れ替えて展示しています。

高村光太郎記念館企画展 「智恵子の紙絵」

開催中 11月23日 水・祝 (会期中無休)

会場：高村光太郎記念館 開館時間：午前8時30分～午後4時30分
入館料：大人350円／高校・学生250円／小・中学生150円

【問い合わせ】 高村光太郎記念館(☎28-3012)

宮沢賢治生誕120年記念事業 イベント情報



賢治祭

本年度の賢治祭は、宮沢賢治生誕120年を記念し3部構成で開催します。

《音楽と演劇の夕べ》

市内児童生徒による歌と朗読、チェリスト藤原真理さん、ピアニスト倉戸テルさんによる演奏、劇団らあすによる演劇を行います。

【日時】9月16日(金)、午後5時～8時30分

【会場】文化会館大ホール

※入場は無料ですが、整理券が必要です。整理券は宮沢賢治記念館、花巻観光協会、ホテルグランシェール花巻、賢治の広場(上町)、市役所本庁賢治まちづくり課および各総合支所地域振興課、文化会館で配布しています

《賢治祭》

宮沢賢治の命日に、雨ニモマケズ詩碑前で、献花や朗読、合唱、野外劇、神楽、かがり火を囲んでの座談会などを通じ、賢治をしのびます。

入場は無料で、どなたでも参加できます。



【日時】9月21日(水)、午後4時～8時30分

【会場】桜町・雨ニモマケズ詩碑前(雨天時は南城小学校体育館)

※駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください

【内容】

▷献花、黙とう、「精神歌」斉唱(午後4時)

▷詩の朗読、合唱、野外劇、神楽など(午後4時30分)

▷座談会(午後7時30分ごろ)

《講演会「宇宙からの贈りもの」》

「宮沢賢治とともに見た宇宙」をテーマに、宇宙飛行士で日本科学未来館館長の毛利衛さんによる講演会を開催します。

【日時】12月16日(金)、午後2時～3時30分

【会場】文化会館大ホール

上記の事業の詳細についてはホームページ(<https://sites.google.com/site/2016xianzhiji/>)でご覧いただけます。

【問い合わせ】 一般財団法人 宮沢賢治記念会 (☎31-2117)

シンポジウム

「世代をつなぐ賢治への思い ～イーハトーブ花巻からの発信～」

講演やパネルディスカッションを通じ、宮沢賢治賞・イーハトーブ賞受賞者の活動を改めて顕彰するとともに、賢治への思い、花巻への思いを地元花巻から全国に向けて発信します。

【日時】9月17日(土)、午後4時30分～6時30分

【会場】宮沢賢治イーハトーブ館

【内容】▷講演(講師は三陸鉄道株式会社前社長の望月正彦さん)▷パネルディスカッション(コーディネーターは岩手大学名誉教授の望月善次さん、パネリストは第4回イーハトーブ賞奨励賞受賞者の滝田恒男さんと市民代表数名)

【入場料】無料

【問い合わせ】 宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会事務局(本庁賢治まちづくり課内 ☎24-2111内線372)

第26回 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式

宮沢賢治に関する優れた研究や、その精神を実践している個人・団体に贈る「宮沢賢治賞」と「イーハトーブ賞」贈呈式を行います。

入場は無料で、どなたでも参加できます。

【日時】9月22日(木・祝)、午前10時

【会場】なはんプラザ

【受賞者】

▷イーハトーブ賞…司 修さん

「描く」と「書く」の両方向から美術と文学を創造的に媒介し、日本の文学出版文化に貢献してきた功績と、賢治童話をモチーフとした自由で独創的な絵画や文学的エッセイに対して▷宮沢賢治賞奨励賞…加藤 昌男さん

賢治童話全体の読みに基づいた「賢治曼陀羅蔵書票」全12巻や「宮沢賢治の心を読む」I～III挿絵などにおける深みある銅板画表現に対して▷イーハトーブ賞奨励賞…野口 田鶴子さん

賢治の詩や童話の14年に及ぶ定期朗読を通して獲得された、作品理解に基づく芸術的でオリジナルな語りに対して

【問い合わせ】 本庁賢治まちづくり課(☎24-2111内線371)